

弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page1- 11(2009.03)	塩基性ヘアケラチン遺伝子群を欠失する弘前ヘア レスラットの毛包の性質 毛髄質の拡大と毛小皮の 欠損、退行期の延長(CARACTERIZATION OF HAIR FOLLICLES IN HIROSAKI HAIRLESS RATS WITH DELETION OF BASIC HAIR KERATIN GENES. ENLARGED MEDULLA, LOSS OF CUTICLE AND LONG CATAGEN)(英	秋田美季, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科ゲノム 生化学講座
東北脳血管障害研究会 学術集会記録集(1880- 9278)30回 Page15- 20(2008.12)	破裂脳動脈瘤急性期における再破裂と血圧管理 の意義	小笠原ゆかり, ほか	弘前大学 医学部 脳神経外科
日本胸部臨床(0385- 3667)68巻2号 Page172- 180(2009.02)	肺腺癌におけるepidermal growth factor receptor の遺伝子異常と蛋白発現	小林正和, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科分子病 態病理学講座
耳鼻と臨床(0447- 7227)55巻1号 Page39- 45(2009.01)	通年性アレルギー性鼻炎に対する抗アレルギー薬 の服薬コンプライアンスに関する検討	松原篤, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科耳鼻咽 喉科学講座
臨床整形外科(0557- 0433)43巻10号 Page997-1003(2008.10)	頸椎椎弓形成術後の包括的健康関連QOL 頸部 日常生活運動機能および軸性疼痛との関連	沼沢拓也, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座
臨床整形外科(0557- 0433)43巻10号 Page1005-1009(2008.10)	脊椎手術における術前抗菌薬単独投与のみの感 染管理	沼沢拓也, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座
東北整形災害外科学会 雑誌(1348-8694)52巻1 号 Page94-98(2008.06)	受傷後3日目に膝窩動脈損傷が判明した膝複合 靭帯損傷の1例	上里涼子, ほか	弘前大学 整形外 科
日本病院薬剤師会雑誌 (1341-8815)44巻6号 Page897-900(2008.06)	レボフロキサシン適正使用のためのPK/PDを考慮 したサーベイランスの試み	新岡文典, ほか	弘前大学医学部附 属病院 薬剤部
小児がん(0389-4525)45 巻3号 Page243- 248(2008.09)	小児肝細胞癌に対する臨床病理学的検討	須貝道博, ほか	弘前大学医学部附 属病院 小児外科
Progress in Medicine(0287-3648)28 巻4号 Page999- 1006(2008.04)	自然発症糖尿病GKラットの糖代謝・膵島病変に対 するピタバスタチンの作用	水上浩哉, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科分子病 態病理学講座
あたらしい眼科(0910- 1810)25巻10号 Page1443-1446(2008.10)	強膜弁無縫合改良非穿孔トラベキュラー手術 成績	盛泰子, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 講座
泌尿器外科(0914- 6180)22巻2号 Page176- 177(2009.02)	BCG、ナノパーティクルBCGの直接効果	盛和行, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器 科学講座
日本消化器外科学会雑 誌(0386-9768)41巻10号 Page1848-1853(2008.10)	直腸に病変の及んだOgilvie症候群の2症例	西澤雄介, ほか	弘前大学 医学部 乳腺甲状腺消化器 外科
消化器と免疫44号 Page60-61(2008.06)	潰瘍性大腸炎難治例におけるP-glycoprotein発現 CD8 α β T細胞の意義	石黒陽, ほか	弘前大学 医学部 消化器血液内科
癌と化学療法(0385- 0684)36巻2号 Page317- 320(2009.02)	Trousseau症候群を来した胃癌の1例	川口章吾, ほか	弘前大学 医学部 消化器血液内科
日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)69巻7号 Page1578-1584(2008.07)	骨盤内悪性腫瘍の膀胱浸潤例に対する膀胱拡大 術	村田暁彦, ほか	弘前大学 医学部 第2外科
日本集中治療医学会雑 誌(1340-7988)15巻3号 Page301-306(2008.07)	肺毛細管楔入圧が正常な急性心筋梗塞患者にお ける胸部インピーダンス法と肺動脈カテーテルを用 いた肺内水分状態および血行動態の検討	大川浩文, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科救急・ 災害医学講座

小計17件

Progress in Medicine(0287-3648)28 巻12号 Page3095- 3097(2008.12)	III群抗不整脈薬塩酸ソタロール(ソタコール)の使用 経験 デバイスや他の抗不整脈薬との併用症例 塩酸ニフェカレントと塩酸ソタロールの使用により持 続性心房細動と持続性心室頻拍の双方の抑制が 可能であった非虚血性心筋症の1例	大和田真玄	弘前大学 医学部 循環器呼吸器腎臓 内科
弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page27- 35(2009.03)	【抗C0クワケルマ細胞におけるクアケルマとセボフル ランの抗炎症作用関連遺伝子のスクリーニング(A LARGE-SCALE GENE EXPRESSION SCREENING ON ANTI-INFLAMMATORY EFFECTS OF KETAMINE AND SEVOFLURANE IN RAT C6 GLIOMA CELLS)(英語)	丹羽英智, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科 科学講座
日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)70巻3号 Page854-858(2009.03)	結腸浸潤によりイレウスで発症した膵腺扁平上皮 癌の1例	池永照史郎一期, ほか	弘前大学 消化器 外科
整形外科最小侵襲手術 ジャーナル(1342- 3991)48号 Page27- 33(2008.09)	【頸部脊髄症に対する最小侵襲手術】C3椎弓切 除を加えたC2頸半棘筋温存による拡大術 頸椎 症性脊髄症における可動域制限に伴うADL障害 について	竹内和成, ほか	弘前大学 整形外 科学教室
麻酔(0021-4892)58巻2 号 Page195- 198(2009.02)	術後に予想以上の呼吸不全を来した原発巣不明 の癌性胸水の1症例	中井希紫子, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科 科学講座
Hip Joint(0389-3634)34 巻 Page96-100(2008.11)	各種股関節温存手術の長期成績 特発性大腿骨 頭壊死症に対する骨頭温存手術の長期成績	中村吉秀, ほか	弘前大学 整形外 科
別冊整形外科(0287- 1645)53号 Page142- 147(2008.04)	【変形性関節症 最近の知識】変形性関節症の臨 床 下肢の新しい人工関節の開発 日本人変形性 股関節症に対するセメントレス大腿骨ステムの開発 HPPステムの中期成績	中村吉秀, ほか	弘前大学 整形外 科
Progress in Medicine(0287-3648)28 巻10号 Page2513- 2516(2008.10)	皮脂欠乏性湿疹のそう痒に対するセチリジン塩酸 塩の効果の検討	中島康爾, ほか	弘前大学 医学部 皮膚科学講座
脳卒中の外科(0914- 5508)37巻2号 Page100- 103(2009.03)	脳内出血に対する軟性鏡手術と硬性鏡手術の比 較	中野高広, ほか	弘前大学 医学部 脳神経外科
弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page86- 95(2009.03)	高血圧自然発症ラットの脳内反依存性過力因子 反応におけるカルシウム活性化カリウムチャネルの 障害(IMPAIRMENT OF CALCIUM-ACTIVATED POTASSIUM CHANNELS IN ENDOTHELIUM- DERIVED HYPERPOLARIZING FACTOR RESPONSES IN SPONTANEOUSLY HYPERTENSIVE RATS)(英語)	長谷川一志, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科循環呼 吸器腎臓内科学講座
臨床放射線(0009- 9252)53巻10号 Page1231-1237(2008.10)	四肢・体幹部動脈性出血に対するNBCA塞栓術の 有用性	長畑守雄, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科放射線 科学講座
肩関節(0910-4461)32巻 2号 Page389- 392(2008.06)	鏡視下腱板修復術後の肩峰下滑液包内ロピバカ イン持続投与	津田英一, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座
青森労災病院医誌 (0918-1369)18巻1号 Page11-13(2008.04)	胆管腫瘍との鑑別に苦慮したHepatic peribiliary cystsの1例	田中宗雄, ほか	弘前大学 医学部 消化器血液内科
胸部外科(0021-5252)61 巻5号 Page403- 406(2008.05)	肺動脈閉鎖と右鎖骨下動脈起始異常を伴うFallot 四徴症に対する姑息的右室流出路形成術の1例	渡辺健一, ほか	弘前大学 呼吸器 心臓血管外科
産婦人科の実際(0558- 4728)57巻10号 Page1615-1623(2008.10)	核置換卵子の活性化と染色体分配	渡邊誠二, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科生体構 造医科学講座
青森労災病院医誌 (0918-1369)18巻2号 Page35-38(2008.10)	嚢胞構造を呈した膵グルカゴノーマの1例	島谷孝司, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科消化器 血液内科学講座

小計16件

Neurological Surgery(0301-2603)36巻10号 Page873-878(2008.10)	超高齢者破裂脳動脈瘤における局所麻酔下コイル塞栓術および選択的局所動注療法の役割について preliminary report	嶋村則人, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科脳神経外科
Neurosurgical Emergency(1342-6214)13巻2号 Page162-167(2008.12)	高齢者破裂脳動脈瘤における局所麻酔下血管内治療の有益性 クリッピング術との比較検討	嶋村則人, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科脳神経外科
青森県作業療法研究(0918-1431)17巻1号 Page63-68(2009.03)	小指屈筋腱損傷の術後セラピの経験	嶋谷真悟, ほか	弘前大学医学部附属病院 リハビリテーション部
弘前医学(0439-1721)60巻1-4 Page96-99(2009.03)	胸部圧迫症状を呈した食道神経鞘腫瘍の1例 (ESOPHAGEAL SCHWANNOMA PRESENTING WITH CHEST OPPRESSION: REPORT OF A CASE)(英語)	藤田和歌子, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科胸部心臓血管外科学講座
日本腎臓学会誌(0385-2385)51巻1号 Page68-73(2009.01)	末期腎不全前に腹膜透析を導入し、QOLの改善が図れた難治性ネフローゼ症候群の1女子例	教賀和志, ほか	弘前大学 医学部 小児科
日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)26巻4号 Page472-480(2008.10)	婦人科腫瘍におけるPET/CT検査の臨床的意義	二神真行, ほか	弘前大学 医学部 産科婦人科学教室
癌と化学療法(0385-0684)36巻2号 Page237-240(2009.02)	頭頸部癌に対するS-1の有効性の検討	白崎隆, ほか	弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科
Osteoporosis Japan(0919-6307)16巻3号 Page470-472(2008.07)	服用時間を変えたりセドロネート投与の骨密度、骨代謝への影響についての検討	樋口毅, ほか	弘前大学 医学部 産科婦人科学教室
産婦人科漢方研究のあゆみ(0913-865X)26号 Page18-23(2009.03)	更年期精神症状における漢方治療 加味逍遙散を中心に ホルモン補充療法、加味逍遙散投与の更年期障害に対する効果の比較	樋口毅, ほか	弘前大学 医学部 産科婦人科学講座
法医学の実際と研究(0289-0755)51号 Page211-217(2008.12)	急性心筋炎による突然死における不整脈の関連性	美作宗太郎, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科法医学講座
日本受精着床学会雑誌(0914-6776)26巻1号 Page341-347(2009.03)	着床不全症例におけるNK細胞上Natural Cytotoxicity Receptors発現とNK細胞産生サイトカイン	福井淳史, ほか	弘前大学 医学部 産科婦人科
青森県臨床産婦人科医学会誌(0913-8307)23巻1号 Page32-36(2008.10)	術前診断が可能であったWunderlich症候群の1例	福原理恵, ほか	弘前大学 医学部 産科婦人科学教室
日本足の外科学会雑誌(0916-7927)29巻2号 Page42-46(2008.05)	有痛性三角骨障害に対する鏡視下切除術の小経験	福田陽, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外科
泌尿器外科(0914-6180)22巻2号 Page187-188(2009.02)	当科におけるBCG上部尿路灌流療法の長期成績	米山高弘, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座
法医学の実際と研究(0289-0755)51号 Page205-209(2008.12)	型的二重結合法によるヒト臓器のABH血液型抗原活性について	北武, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科法医学講座
弘前医学(0439-1721)60巻1-4 Page45-53(2009.03)	性に対する作用 ラット心筋梗塞モデルでの検討 (AMIODARONE ATTENUATES THE UPREGULATED MATRIX METALLOPROTEINASE-2 ACTIVITY IN A RAT MYOCARDIAL INFARCTION MODEL)(英語)	堀内大輔, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科循環呼吸腎臓内科学
東北膝関節研究会誌(0917-5164)18巻 Page27-30(2008.07)	高位脛骨骨切り術後に矯正骨切り術を行った2例	木村由佳, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外科

小計17件

東日本整形災害外科学 会雑誌(1342-7784)20巻 2号 Page253- 257(2008.06)	両側上腕骨小頭離断性骨軟骨炎と診断した少年 野球選手の1例	木村由佳, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科
Audiology Japan(0303- 8106)51巻6号 Page624- 632(2008.12)	青森県における新生児聴覚スクリーニングに関す るアンケート調査	初山淳子, ほか	弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室
糖尿病(0021-437X)51巻 7号 Page587- 591(2008.07)	SRQ-Dを用いた糖尿病患者における“うつ”の検討	友常健, ほか	弘前大学 医学部 内分泌・代謝内科
弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page54- 62(2009.03)	藤ランゲルハンス島に引き起こされる低酸素性機 能障害の経時的変化とメカニズム(HYPOXIA INDUCES DYSFUNCTION AND CELL DEATH OF THE RAT PANCREATIC ISLET)(英語)	友常健, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科内分泌 代謝内科学講座
弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page63- 76(2009.03)	ラット視床下部・神経下垂体における非ヘム2価 (Fe(II))および3価(Fe(III))鉄の局在(NONHEME- IRQN DEPOSITION IN THE HYPOTHALAMO- NEUROHYPOPHYSEAL SYSTEM OF THE RAT BRAIN)(英語)	李成泰, ほか	弘前大学 医学研 究科神経解剖・細 胞組織学講座
体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)18巻2号 Page173-175(2008.11)	血清Se濃度と好中球機能の関連	李相潤, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科社会医 学講座
弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page77- 85(2009.03)	2次元および3次元動作解析法を用いたジャンプ着 地動作中の下肢外反アライメントの比較(LOWER LIMB VALGUS ALIGNMENT COMPARED WITH TWO-AND THREE-DIMENSIONAL MOTION ANALYSIS DURING A DROP JUMP TEST)(英語)	林慶充, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座
臨床眼科(0370-5579)62 巻12号 Page1901- 1905(2008.11)	健常な若年男性に生じた原因不明の黄斑部網膜 下滲出性病変	鈴木香, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科眼科学
眼科手術(0914-6806)21 巻4号 Page507- 511(2008.10)	片眼性の成熟白内障でみつかった両側性前部円 錐水晶体の家系	鈴木香, ほか	弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 講座
Osteoporosis Japan(0919-6307)16巻3 号 Page432- 435(2008.07)	一般女性における脂質系と音響的骨評価値の相 関に対する検討	柞木田礼子, ほか	弘前大学 医学部 産科婦人科学教室

小計10件

合計125件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	各診療科長, 中央診療施設等各部長, 薬剤部長, 看護部長, 総務課長, 経営企画課長, 経理調達課長, 医事課長
管理担当者氏名	管理責任者が指名する者

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴部	①カルテ等の紙ベースの診療記録 入院：1患者1カルテ方式 外来：平成19年7月以降の受診歴あり→1患者1カルテファイル方式 ：平成19年7月以降の受診歴なし→1患者1診療科カルテ方式 ②エックス線写真 入院：1患者1フィルム方式 ・平成21年6月以降撮影分から、原則的に画像データ参照方式 外来：1患者1診療科フィルム方式 ・平成20年1月以降撮影分から、原則的に画像データ参照方式
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	総務課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課
確保規則の第9条の2及び第3条	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課

1 条の 1 1 各号 に掲 げる 体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況		
	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部		
医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	薬剤部		

	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長
閲覧担当者氏名	各診療科長, 中央診療施設等各部長, 薬剤部長, 看護部長, 総務課長, 経営企画課長, 経理調達課長, 医事課長
閲覧の求めに応じる場所	病院小会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.6%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,598人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,952人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	810人	
	D: 初診の患者の数	13,814人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (9) 名 ・活動の主な内容： ① インシデント・アクシデントの調査，集計及び分析 ② 安全管理に関する教育・研修の企画・運営 ③ リスクマネジャーとの連絡調整 ④ その他リスクマネジメントに関すること	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・指針の主な内容： ① 安全管理のための指針 ② 医療事故発生時の対応 ③ 安全確保を目的とした改善のための要点 ④ その他医療安全推進の要点 ⑤ 安全な医療を提供するための職員研修 ⑥ 医療安全管理のための指針の閲覧に関すること	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年16回
・活動の主な内容： ① 医療事故予防・防止に関する情報収集及び対策の検討 ② 医療事故防止マニュアルの作成 ③ 医療事故予防・防止の教育，研修の企画，立案及び実施 ④ 医療事故の調査・報告，原因分析及びその対策 ⑤ 医事紛争の予防・防止及びその対策	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年11回
・研修の主な内容： ① マニュアルポケット版説明会 ② 深部静脈血栓症について ③ ヒューマンエラー防止に向けて ④ 麻酔管理について ⑤ ヒューマンエラー・低減対策と活動 ⑥ 周術期肺血栓塞栓症をどう予防するか ⑦ 医療事故訴訟に備えて (CD研修) ⑧ KYT研修会 ⑨ 根本原因分析法 (RCA) ⑩ CVカテーテル実施研修 ⑪ BLS講習会	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ① 医療安全推進室の充実（専任の薬剤師1名増員）
 - ② リスクレポートシステムによる報告体制の充実（医師から報告）
 - ③ 院内緊急コール体制の整備
 - ④ 医療安全対策レターの発行
 - ⑤ 医療安全全国共同行動への参加

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染対策 ② サーベイランス ③ アウトブレイク時の対応 ④ 外来トリアージ ⑤ 器材の滅菌・消毒・洗浄 ⑥ マニュアル（指針）閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策委員会 1 1 回・感染制御センター会議 1 2 回 ② 院内感染防止対策の検討 ③ 院内感染防止マニュアルの作成 ④ 院内感染防止の教育，研修の企画・運営 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年8回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策講演会「抗菌薬耐性菌と院内感染対策」 ② 針刺し事故後対応マニュアル説明会 ③ あなたを護り，患者を護る職業感染予防対策 ④ 微生物検査データからの感染対策 ⑤ 抗菌薬の適正使用—耐性菌を出さないために— ⑥ パンデミックへの備え ⑦ 結核院内感染防止対策マニュアル説明会 ⑧ 感染対策の基本について 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① MRSA 報告・エピネット報告システムの充実 ② サーベイランスの実施 ③ 国立大学附属病院感染対策協議会への参加 ④ インфекションコントロールニュースの発行 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：実施日：平成20年8月29日 <ul style="list-style-type: none"> ① 医薬品安全責任者の責務並びに医薬品安全管理手順書の内容について、病院に従事するすべての職員を対象に行った。内容は、病棟への医薬品の供給外来患者への医薬品の使用、病院における医薬品の管理及び職員への教育・研修である。 ② 麻薬管理について：麻薬使用に関わる管理の注意点および重要性について説明した。 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有) ・ 業務の主な内容：平成21年度は項目10以降を追加した。 記載内容：①医薬品の採用，②医薬品の購入，③調剤室における医薬品の管理，④病棟等への医薬品の供給，⑤外来患者への医薬品使用，⑥在宅患者への医薬品使用，⑦病院における医薬品管理，⑧入院患者への医薬品使用，⑨医薬品情報の収集・管理・提供，⑩手術・麻薬部門，⑪救急部門・集中治療室，⑫輸血・血液管理部門，⑬生命維持管理装置領域，⑭臨床検査部門，画像診断部門，⑮歯科領域，⑯他施設との連携，⑰事故発生時の対応，⑱教育・研修 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 特殊製剤ラベルにおいて、従来表示していた「製剤作成日」を病棟管理面を考慮し、「製剤使用期限」へと変更した。 ② 外観が類似している水薬を病棟に払い出す際、医薬品名記載ラベルを水剤ボトルに貼付することとした。 ③ 外来患者に配布する医薬品情報紙において、従来、散薬に関しては1回服用する量(単位)を「g」で記載していたが、患者が服用方法を確認する際、混乱を招かないよう、(単純明快に)「包」へと変更した。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・検査部門 不定期 ・放射線部門 年5～6回 ・MEセンター 年9回
<p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門：新規検査機器の使用説明会，修理完了時の故障対策説明会 ・放射線部門：メーカーによるアプリケーショントレーニング，熟練者による新人トレーニング，外部団体での研修，各種セミナー，学術講演会への参加。 ・MEセンター：人工呼吸器5回，除細動装置2回，保育器2回，PCPS3回，IABP2回，血液浄化装置1回。その他新人看護師に対するシリンジポンプ，輸血ポンプの安全使用方法について1回。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定（有） ・保守点検の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門：検査機器マニュアルに添付されている，デューリー，ウィークリー及びマンスリーの保守点検表のチェック ・放射線部門：①定期消耗部品の点検と部品交換，②メーカー指定の耐久時間を経過した部品の交換，③故障初期段階の兆候を察知した時点での点検，修理，部品交換，④過去データから割り出した時期での点検，部品交換。 ・MEセンター：人工心肺装置，PCPS，IABP，閉鎖式保育器は3ヶ月に一度，人工呼吸器は機種に応じて，血液浄化装置及び除細動装置は6ヶ月に一度，シリンジポンプ，輸液ポンプは1年に一度定期点検を行っている。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器に係る情報の収集の整備（有） ・その他の改善のための方策の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門：MR訪問時の機器説明会 ・放射線部門：①メーカーを交えた勉強会（月1回）の実施，②学会・研究会に職員を派遣し新技術の収集，③HPなどを利用した情報収集，④事例ごとのグループ討議の中での改善策の策定 ・MEセンター：メーカー，代理店及びHPを通じての情報収集を行っている。 医療安全推進室や関連部署には関連部署には文書等で情報提供を行っている。 	